

青空通信

令和2年7月1日

発行：北九州市

私立保育園連盟

青年会議

発行人：橘原 義晃

編集人：青年会議広報部

岡村 信一郎

【青年会議会長挨拶】

ひびきの保育園 橘原 義晃

令和元年四月より二期目の会長職を務めさせていただきました。今年度で最終任期の年になりました。前号までは、青年会議の歴史や保育制度についてお話させていただきましたが、今回は青年会議の活動内容をご紹介させて頂きたいと思います。

〔主な活動内容〕

- ・公益社団法人全国私立保育園連盟青年会議 幹事会出席・・・全私保連加盟団体青年組織の各県代表者が幹事として全国保育会館等で会議に参加（年3回程度）

・活動内容

①例会・・・毎月開催 近況報告・議事録作成

②幹事会・各種会議報告

直近の保育情勢や研修開催状況の報告、全私保連諸活動への協力について

③各委員会報告

北九州市私立保育園連盟と連携を図り、各委員会に参加して青年会議における活動内容を報告、必要に応じ資料作成

④年間開催事業

・トライルによる運動会種目研修

- ・北九州市議会議員・福岡県議会議員との勉強会

- ・北九州市、福岡県、福岡市との合同研修会（年1回各組織持ち回りで開催）
- ・北九州市私立保育園連盟青年会議OBとの勉強会・懇話会

⑤その他

- ・北九州市私立保育園連盟主催各事業の参加及び補佐

- ・北九州市保育研修大会の運営補佐

- ・わっしょい百万夏祭り参加

- ・青年会議会報発行

- ・全国私立保育園連盟青年会議研修会、九州保育三団体青年部協議会研修会の開催及び参加

昭和54年に、初代部長である西村良樹先生を筆頭に「青年部会」として発足して、40年の歴史がある現在の「青年会議」ですが、これまでに礎を築いて頂いた諸先輩方の意思や伝統を継承しつつ、変えてはいけないうこと、変わらなければいけないことを社会情勢や時代の流れを見据えながらしっかりと取り組んで活動して行きたいと思えます。

【指導者研修会…ほめ達】

《講師》 中村 早岐子

《日程》 令和元年六月二十九日

《場所》 北九州パレス

「ほめる」とは、自分のまわりのへ人へモノへ起る出来事」の価値を発見して伝えること、私たちの身の回りには、ダイヤの原石がいっぱいあることに気づかなければいけない などといった、人生や組織を豊かにするための方法を教えていただきました。

「ほめる」ことが当たり前となるためには、日頃から「ほめる」ことを意識し、訓練することが大切だと先生は述べられます。例えば、「気が弱い」という否定的



な言葉は、「控え目」や「周囲に合わせることでできる」などと肯定的な言葉に言い換えることができます。また、話を聞く態度においては、笑顔や頷き、賞賛の拍手などを適度に行うといった、受容・容認の態度をとることが、相手の気持ちを和ませる働きをすると述べられていました。このようなことを日ごろから意識し行動するこ

とで、話し手も受け手も双方が肯定的となり、さらには人生や組織が豊かになるということを教えていただきました。

大浜保育園 田中敏也

【市議会自民党議員との勉強会】

《日程》 令和元年八月九日

《場所》 八雲亭

小倉北区の八雲亭にて北九州市市議会議員との勉強会を、参議院議員自見はなこ氏、子ども家庭局保育課小田係長に参加して頂き開催いたしました。十月に施行を控えた幼児教育保育無償

化の直前の開催だったこともあり、問題点や疑問点など、活発な意見交換が行われました。中でも、主食費、副食費の金額問題や徴収に伴う事務作業の増加などについて活発な議論が交わされました。また、保育士確保対策として北九州市保育士・



保育所支援センターでの取り組みや、北九州市私立保育園連盟が行った北九州市保育園フェア2019の状況などが報告されました。他方、自見はなこ氏からは国会での取り組み、情報報告をして頂き、小田係長からは市としての取り組み、今後の課題などを報告して頂きました。

その後も子ども・子育て支援に関する話題で盛り上がり、会の終わりでは、市議会議員の方々と、『今後も交流を深め、議会・行政に声を出し保育の現状・問題点を伝えることで、北九州市の子どもたちが少しでも良い環境の中で、成長ができるよう努めていこう』と約束を交わすことができました。

浅川保育園 上原 剛

【全国私保連 青年会議 横浜大会】

《日程》 令和元年十一月七日～八日

《場所》 横浜ベイシエラトンホテル&タワーズ

「HAPPY2019それぞれの幸せのために」をテーマに令和元年十一月七日、八日の両日第三十九回公益社団法人 全国私立保育園連盟青年会議横浜大会が開催されました。

初日は、会員たった一人で創設された横浜青年部がこの大会の実行まで漕ぎつけた話を千葉実行委員長より熱く語っていただきました。

その話は九州三団体青年部協議会北九州大会を控えた我々の気を引き締めるものでした。

午後は各分科会が開催されました。私が参加した分科会では日本笑い学会理事の原坂一郎氏による『子どもがこっちを向く保育』についての講演が

ありました。子どもたちを瞬間的にひきつけるための準備工夫は大いに参考になるところがありました。

二日目は「夢の実現 ツキの10か条」北原照久氏の記念講演がありました。一人の人物の言葉でその後の人生が大きく変わった。そういう経験はないでしょうか。北原氏は、恩師の言葉によって、誰もやらなかったおもちゃの博物館という夢の第一歩を勇気をもって踏み出すことができました、その経験を語ってくれました。我々青年保育者にとって夢とまではいかないまでも次のステージにつながる言葉の重要性は日々考えさせられるところで、とても参考になりました。



今回の横浜大会の参加は、改めて全国青年保育者がこれからの保育・組織運営をどのように考えているかを共有することができたとても有意義な時間でした。

梶田杉の実保育園 岡本 一

【九州保育三団体青年部協議会研修会宮崎県大会】

《日程》 令和元年十月二十九日～三十日

《場所》 宮崎観光ホテル

「Are you Excited? ～おとなも子どももワクワクしよう～」と銘打たれた今回の研修。大会1日目、一部は「未来予想図～これからの幼児教育～」をテーマに、妹尾正教氏・渡部史郎氏による対談形式の講習がありました。お二方とも保育園プラスアルファ、地域・社会的活動に尽力し、表現・文化・探求が融合した保育の試みを展開していました。



二部では「保育環境デザインを考える」をテーマに、坂本喜一郎氏、中村章啓氏によるパネルディスカッション形式での講習でした。保育環境デザインとは環境構成と違い、子ども発信・子ども自ら能動的に関わる環境である。また、環境構成は「自主的参加」であるが、環境構成デザインは「主体的参加」で子どもの興味関心に合わせて「遊び環境を創る」とのことでした。

二日目は社会学者の古市憲寿氏による記念講演でした。認知能力・非認知能力について社会学者としての視点から語って頂き、とても論理的内容で、分析や統計などの知見も大事だと感じ

ました。今回の研修会全般を通して随所に創意工夫が凝らしてありワクワク感満載でした。何か新しいことを初めてやってみる時、先の展開が分からない中で、期待や不安を感じ、工夫や挑戦を繰り返していくうちに成長する。それは大人も子どもも変わらないと学んだ研修内容でした。

三ツ葉保育園 藤井 康介

【九州保育三団体青年部協議会セミナー】

《日程》 令和二年一月十六日

《場所》 アートホテル小倉ニュータガワ

北九州市の主催で行われた今回の九州保育三団体青年部協議会セミナーは、「つなごう人の輪 北九州2019～保育の質の向上につながる組織運営とは～」を基調テーマとし、東京未来大学子ども心理学部教授である藤後悦子先生をお迎えして、「保育園経営のためのマネジメント」のご講演を賜りました。

臨床心理士や保育士など様々な資格をお持ちの藤後先生は、その複合的な観点から保育園経営のため、組織の維持、発展についてマネジメントがいかに大切かを、また適切なマネジメントを行うことにより保育の質向上、職員間での関

係性など様々な点が改善され、園の健全な経営に繋がっていくことを体系的にお話しく下さいました。私自身このセミナーを通じて、園の組織体制を考える大変良いきっかけになりました。

講演終了後は代表者会、情報交換会を行い、セミナーを振り返るとともに参加された各団体との懇親を深め、大変有意義な研修となりました。

光保育園 江田 正俊

【青年会議第15回特別セミナー】

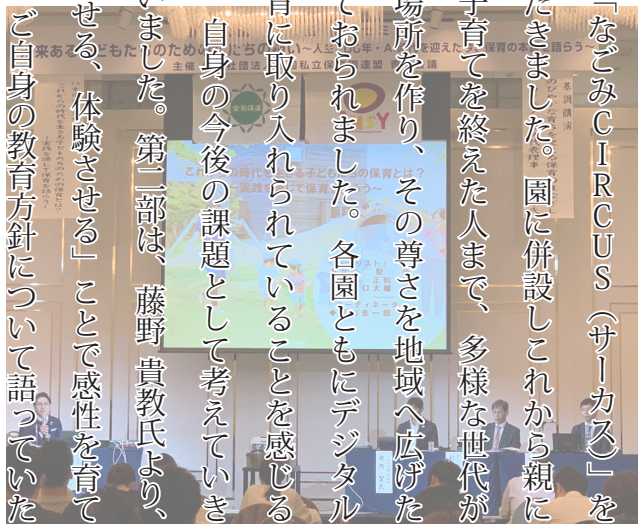
《日程》令和二年二月十七日～十八日

《場所》 浅草ビューホテル

今回の第15回特別セミナーは、「未来ある子どもたちのための私たちの担い〜人生100年・AI時代を迎えた今、保育の本質を語らう〜」のテーマのもと行われました。

第一部は「これからの時代を生きる子どもたちのための保育とは？〜実践を通じて保育を語らう〜」という演題でパネルディスカッションが行われました。まずはじめに井内聖氏より、幼児教育の現場における働き方改革は、労務管理、人材確保だけでなく、保育の質と量、労働の質と量という観点が必要だと語っていただきました。次に杉本正和氏より、「9割のアナログ保育」

「1割のデジタル保育」について語っていただきました。最後に、志賀口大輔氏より開放的なベーカーリーカフェにおもちゃと絵本児童書の専門店、親子連れが集う「子育て支援ひろば」を備えた複合施設「なごみCIRCUS（サーカス）」を紹介いただきました。園に併設しこれから親になる人、子育てを終えた人まで、多様な世代が関わる居場所を作り、その尊さを地域へ広げたい等語っておられました。各園ともにデジタル技術を保育に取り入れられていることを感じるとともに、自身の今後の課題として考えていきたいと思えました。第二部は、藤野貴教氏より、「本物を見せる、体験させる」ことで感性を育てるといふ、ご自身の教育方針について語っていただきました。子育てに答えはなく、親自身が今後の世の中の潮流を見据え、自分なりの「未来観」を持ち、意思決定をすることが重要だと語っていたことがとても印象的でした。



2日間を通じて各パネリストの先生方の発想や広報戦略を聞くことができ、自園の取り組みを見直し改善していく良い機会になりました。

本城西保育園 橘原法道

新役員紹介						
会長	橘原 義晃					
副会長	上原 剛					
副会長	橘原 法道					
副会長	宮原 健輔					
事務局	岡本 一					
会計	藤井 康介					
監事	新川 知明					
監事	鷲峰 康尚					

【編集後記】
 今回13号目となる青空通信はコロナ禍の只中で編集されました▼東京大学名誉教授である汐見稔幸先生はあるインタビューの中で「コロナも含め、これまでの人間社会のあり方や生活の仕方など歴史の中で考えてみるのが大事である」とおっしゃっています▼これまでの常識が通用しなくなった今こそ、私達保育に携わる者も、今後のあり方について改めて考え直す時期なのかもしれない▼長浜保育園 岡村 信一郎

令和元年度 活動報告	
六月十一～十三日	全国私立保育園研究大会
六月二十九日	トライアル「2019指導者研修会」
七月十一～十三日	九州保育三団体研究大会 鹿児島県
八月四日	北九州市わっしょい百万夏まつり
八月九日	北九州市議会議員との勉強会及び交流会
八月十九日	福岡県議会議員との勉強会及び交流会
九月二十三日	北九州市・福岡県・福岡市合同研修会
九月二十三日	ホイクエン@フクオカSummer fes
十月二十九・三十日	九州保育三団体青年協議会研修大会 宮崎大会
十一月三日	北九州市保育研修大会
十一月七・八日	全国私保連 青年会議 横浜大会
一月十六日	九州保育三団体青年協議会プレ大会
二月十五日	青年会議OBとの勉強会・懇親会
二月十八日	青年会議 第十五回特別セミナー
三月二十三日	令和元年度 予算総会
五月三十日	令和元年度 決算総会
毎月	例会